

愛知県スキー連盟公認検定員検定(C級)

1. スキー公認検定員規定第2条に定められている(任務)について()の中に適当な語句を入れなさい。
検定員は、スキー()の基幹となる人材であることを認識し、()なる判定によって、()を円滑に運営し、その()を保持するよう心掛けねばならない。
2. スキー公認検定員規定第3条に定められている(検定の範囲)にあるC級検定員が検定できる範囲について()の中に適当な語句を入れなさい。
 - (1) スキーバッジテストの内、()
 - (2) スキーバッジテストの内、()
3. スキー公認検定員規定第12条に定められている(資格の停止)について()の中に適当な語句を入れなさい。
 - (1) 指導員、準指導員及び検定員の()を納期までに納入しないとき
 - (2) 任期中にやむを得ない理由で()に参加できなかったとき
4. ターン運動が合理的におこなわれるためのスキーマーの身体運動はどのように特徴づけられるか。「テールコントロール」、「トップ&テールコントロール」、「トップコントロール」それぞれについて、3つずつあげなさい。
 - (1) 「テールコントロール」

 - (2) 「トップ&テールコントロール」

 - (3) 「トップコントロール」
5. スキーバッジテスト規定第17条に定められている級別テストにおける(受検資格)について()の中に適切な語句を入れなさい。
 - (1) 1級および2級の受検者は、()以上とする。ただし小学生であっても、ジュニアテスト()以上を取得している者であれば、受検することができる。
 - (2) 3級、4級及び5級の受検者は、()以上とする。
 - (3) 受検者は、()する級を受検することができる。
 - (4) 本連盟の登録会員は、()を受けることができる。
6. スキーバッジテストについての文章について()の中に適当な語句を入れなさい。
バッジテストでは、受検者が「自分の現在の()を知ることで、()が実感できる」検定を行うことがもっとも大切です。
また、そのためのバッジテスト(技能評価)としては、「()や()の習熟度にとらわれることなく、()」を評価することを根幹に考えています。

愛知県スキー連盟公認検定員検定(C級)

7. スキーバッジテストにおける級別テストの内容について()の中に適切な語句を入れなさい。

テスト区分	種 目	斜 面
1 級	パラレルターン大まわり(整地)	中急～急斜面
	パラレルターン中まわり(整地)	()
	()	中急～急斜面
	()	急斜面
	フリー滑降	総合斜面
2 級	パラレルターン大まわり(整地)	中急～急斜面
	パラレルターン中まわり(整地)	()
	()	中急～急斜面
	フリー滑降	総合斜面
2 級 申告認定	・登録会員は自己申告によって2級の申告認定を受けることができる。 ・希望者は自己の滑降実績などを審査申請し、()がこれを審査し、認定する。	
3 級	パラレルターン大まわり(整地)	中級コース
	()	中級コース
	フリー滑降	()
4 級	フリー滑降(連続ターン)	()
5 級	フリー滑降	初級コース

テスト区分	実技の内容	評価の内容
1 級 2 級	条件状況に対応して ・テールコントロール ・トップ&テールコントロール ・トップコントロール を選択して滑る	・ターン運動の構成 () ・斜面状況への適応度 () ・運動の質的内容 ()
3 級	中級コースで大まわりと小まわりの連続ターンができる	
4 級	()	
5 級	()	